

本学の学生が書評キャンパスに掲載されました！

書評キャンパスとは？

「週刊読書人」という毎週発行されている書評専門の新聞（図書館に蔵書あり）の人気コラム。

全国の大学生がさまざまな本を紹介しています。

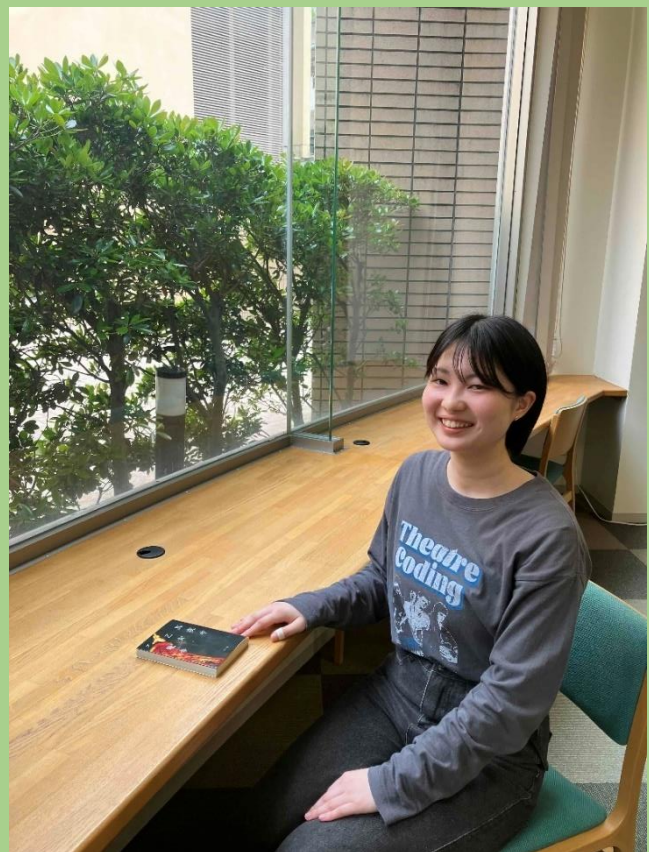
医療検査学科4年生の和田 陽さんの書いた書評が
週刊読書人2024年5月3日発行の3537号に掲載されました

書評キャンパス応募のきっかけを教えてください

大学の図書館の「書評キャンパスに応募してみませんか？」という内容の広報を見たことです。いつか応募してみたいと考えていたので、深く読み込みたい本ができたタイミングで応募しました。

実際に応募してみてどうでしたか

担当の方との連絡は全てメールだったため、気負うことなくやり取りすることができました。書評を実際に読んでいただくのは緊張しましたが、私が書いた文章がより良いものになるよう、的確なアドバイスをしていただきました。普段からたくさんの書評を読んでいるプロの方に、丁寧に添削していただけて嬉しかったです。



学生への皆さんへメッセージがあればどうぞ

書評キャンパスは、一冊の本を読み込み、その本の内容や、作者の意図などについて、じっくり考えることができる良い機会だと思います。大好きな本、オススメしたい本がある方はもちろん、普段あまり本は読まないけれどじっくり読んでみたいと思っている方や、大学生の間に何か新しいことをしてみたい、という方にもぜひ挑戦してみてください。

和田さんが書評を書いた F 著『真夜中乙女戦争』は

図書館にも[所蔵](#)しています！（リンクは図書館 OPAC）

書評の全文は週刊読書人で読めます。図書館にぜひ見に来てください

—図書館では読書好きさんの学内外での活躍を応援しています—

和田さんも参加中♪

読書マラソン参加者の方には
ポイントに応じてちょこっと嬉しい
プレゼントをお渡ししています。
参加希望者は図書館カウンターまで

書評書いてみたい！
私の好きな本も皆に紹介したい！

と思ったあなたは！

応募

選書
執筆

添削

掲載

※図書購入費は読書人が負担
（掲載された場合につき。上限 3000 円）
※原稿料をお支払いします

「週刊読書人」編集委員が
文章の指導を行ってくれます

応募は[書評キャンパス応募フォーム](#)から